エレナ・レーリヒの手紙

1929年10月19日

今日、私は「ヒエラルキアの神聖（サクラメント）」について偉大な師匠の言ったことを書きます。実に、それは神聖です。存在するすべてのものを完成へと導く「宇宙磁石」の、不変で正確な法則が基礎にあるからです。ヒエラルキアを前進へ向かう唯一の道として、はっきりと、正確に、広く理解することが必要です。私たちは最も近いきずなをしっかりつかんで、そのヒエラルキアの鎖全体を理解せねばなりません。このきずなから外れようとする人は災いです。そしてそのせいで結び付きを失ってしまいます。再びもとの位置に戻ることはできません。それは鎖全体の運動のリズムが救いのきずなを運び去ってしまうからです。この過ちはまことに墓場です！ 召命に応じるその揺れ動くきずなを取り戻そうとするのに、どれだけの時間が失われることでしょう。それに、新たなきずなは結果と緊張度が違うでしょう。もとのきずなはヒエラルキアの鎖全体の律動的な奮闘努力に運び去られたからです。

「下位のものが高位のものに従属することは、宇宙全体の基礎を表す。下位のものが高位のものに従属することは、浄化をもたらすだろう。だが、人類は導かれるべき下位のものを自分たちに従属させている。高位のものが導くと、下位のものの変質が起こる。この変質は、無限に成長するという価値ある結果を生み出す。変質とは我々の言う、下位のものが高位のものに従属することであり、我々は無限の前進の過程で人類の意識を強めたいと望む。」

ですから、遅れずに私たちの意識を変質しましょう。導くヒエラルキアを憶えておきましょう。そして最も身近なこの世の指導者（グル）を尊びましょう。「この世の指導者が、尊敬のため、進歩のため、団結のため、建設のために与えられる。」指導者（グル）を無視し、軽んじることで、人は偉大な師匠を無視し、その名誉を傷つけるのです。偉大な師匠はグルを承認する方です。グルは偉大な師匠の代理人だからです。光の主がいかにヒエラルキアの神聖を持つかを思い出しましょう。ヒエラルキアは聖杯の総合を運び、それゆえ服従と命令の両方を保持します。従うことを知らない人は、命令する技も得られないでしょう。これら二つの概念は美しいものです。下位の意識は命令に取り組みます。ヒエラルキアの理解が揺るがなくなった後で、私たちはハートのすべてで人生の教えをより深く理解し始めるでしょう。師匠が惜しみなく与えてくださる宝物が、いかに少ししか理解されないかを思うと、ハートは痛みます。それらの宝物に基づいて、新しい人種が出てくるでしょう。与えられたものの威厳をすべて、熟慮しなさい！ それらの宝物を受け取っておきながら、その人類にとっての価値が理解できない人たちが、私たちの中にいるのを知ると、私たち自身が引き受けた責任について考えて私はぞっとします。飢えた魂に配給する最も必要な食べ物は、きっとその価値を知られないまま、新しい進化の基礎の中にあるでしょう。私の霊の召命を感じなさい！ あなたの宝物をできるだけ何度も読み返しなさい。そのすべての断片を集めて、あなたの存在をそれらと１つにするのです。それらの教えの断片は、存在の最も複雑な難問に、こうした広く明確な知識を与えてくれるでしょう。それを吸収することが唯一の道となるでしょう。そして果てしない前進の素朴な喜びがあなたのハートをいっぱいにすることでしょう。私のハートは、威厳の喜びと、人生の教えが入手できる喜びであなたをインスパイアすることを熱望します。新しい魂たちがやって来て、数を増すでしょう。私たちは彼らを支えることができなければなりません。自分の精神的な力によって誰にでも与えるということが必要です。心を震えさせる、そして新たな可能性を与えてくれる必要不可欠な言葉ほど、人々を魅きつけるものはありません。存在するものはすべて、光へと引き寄せられます。これは宇宙の第１の法則です。教えと、教えをちょうど釣り合う分だけ与える能力は、あらゆる可能性と人々を魅きつける磁石です。それはすべての攻撃に耐えられる鎧で、とめどない喜びをもたらすものです。ただし、それをハートで受け取らねばならず、頭だけで受け取ってはなりません。

互いに愛し合い、互いに敬意を払いなさい。そしてあなたがた１人１人の霊的生活（インナーライフ）を、その人自身の至聖所としなさい。あなたがたは師匠によって、教えによって、活動によって一体となります。ですがお互いの裁判官ではありません。師匠の目には、裁く者はたやすく裁かれる者になり得ます。師匠たちのものさしは、私たちのこの世的なものさしではありません。そして兄弟に向かって投げられた石は、投げた人の重荷となって押しつぶすでしょう。まずヒエラルキアを受け入れてから、その後で教えを吸収しなさい。確固たる喜びだけが、私たちの意識を広げる喜びだからです。それは私たちを、至高の存在の神聖へと至らせ、そこは私たちの最も神聖な場所、最も聖なる努力がどんな人間の想像よりも高い現実性で実現する場所です。